

謹んで新春のお喜びを 申し上げます

あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、メジャーリーグ大谷翔平選手の歴史的な大活躍をはじめ、菊池雄星投手の複合野球施設「King of the Hill」の完成、パリオリンピックに出場した中野慎詞選手・高橋和生選手の活躍、市内の小・中学生や高校生、大学生の全国大会での躍進など、本市では若い力による明るいニュースが多い年となりました。新春1月9日には「King of the Hill」において、菊池雄星投手を立会人として全日本女子野球連盟から花巻市が東北では初となる「女子野球タウン」に認定される調印式が行われました。

加えて、ユネスコ無形文化遺産に日本酒などの「伝統的酒造り」が登録されたことや岩手県産

の一等米比率が全国トップだったことなど、昨年は農業・産業を支える皆さんにとって励みとなる話題もありました。また、温泉などの宿泊施設につきましては、市の地域計画に基づき国の財政的支援を受け、施設の高付加価値工事などが引き続き実施されており、そのことによる宿泊単価引き上げもあり業績も好調であると伺っています。

本市のまちづくりに目を向けますと、令和6年度から8年間の計画期間とする新たな総合計画「第2次花巻市まちづくり総合計画」を策定。この計画に基づくまちづくりがスタートした1年となりました。特に重点的に取り組むこととして設定した「子ども・子育て応援プロジェクト」「花巻で暮らそうプロジェクト」を中心に、市の最重要課題である人口減少対策に引き続き取り組んでまいります。

子育て支援につきましては、

市内の小中学生から高校生などまでの医療費助成について保護者の所得制限を撤廃し、18歳以下の全ての子どもが医療費助成を受けられるようになっていくことに加え、妊産婦に対しても同様に、4月から所得制限を撤廃。全ての妊産婦が所得額にかかわらず医療費助成を受けられるようになりました。

また、3歳以上の園児に対する副食費について、無償化の対象をこれまでの第3子以降から第2子以降に拡充したほか、第1子の分や小中学校の学校給食費について、食料費の価格高騰分を市が負担し、保護者の皆さんの負担軽減を図りました。

さらに、卒業後に市内に居住すると返還が免除される市独自の「はなまき夢応援奨学金」について、貸与月額上限額を2万円から3万円に拡充したほか、市の貸与型奨学金を返還している人を対象に、返還月額の半額を

いて用地買収および工事を進めていただいております。早期の事業完了に向けて、引き続き国などへ要望してまいります。

補助する「ふるさと奨学生定着事業補助金」について、市内大学の卒業生に限定していた要件を、市内外の大学や専門学校などの卒業生までに拡充しました。

移住・定住支援につきましては、子育て世帯が親などと同居・近居するために住宅を取得する場合に最大50万円を支給する「子育て世帯住宅取得奨励金」について、2人目以降の子ども1人につき10万円を加算したほか、大迫・東和地域に住宅を取得する場合は上限額の引き上げを行うなど、若者が住みたい・住み続けたいと思えるまちを目指した積極的な取り組みを進めてまいりました。

道路環境などのインフラ整備につきましては、これまで関係機関との連携した取り組みなどにより、着実な進展を遂げています。国道4号北上花巻道路の4車線拡幅については、国にお

に向けて、引き続き事業を進めてまいります。

新花巻図書館につきましては、建設候補地であるJR花巻駅前と総合花巻病院跡地の2カ所について、事業費やイメージ図を比較できる資料を専門のコンサルタントに委託して作成しました。その結果に関する市民同士の対話型の市民会議を開催し、建設場所についての意見を集約していきたいと考えております。

本年は、新たな総合計画に基

づくまちづくり2年目であり、市がこれまで進めてきたことをさらに力強く推進する重要な1年になります。市の活力を維持し、魅力あふれるまちとしていくためには、市民の皆さまが積極的にまちづくりに参画いただくことが最も重要であると考えておりますので、今後もしもご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

本年が皆さまにとりまして幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。新年のあいさついたします。



花巻市長
上田 東一